

理想的な循環システムを構築

兵庫県朝来市のコバヤシ産業（☎079・674・0154）は木皮やオガ粉など木屑（きくず）を中心とした循環型ビジネスを展開、木屑の新たな活用に挑戦している。

製材所などから発生した木屑等は加工されて、燃料や堆肥の原料になり、野菜などの育成に再利用されている。また、オガ粉、カンナ

朝来市のコバヤシ産業

屑はきのこ栽培や畜産資材として但馬地域の豚や鶏、ブランド牛の安全で衛生的な寝床（敷料）となり、理想的な循環システムを構築。

2009年には「エコアクション21」を認証・登録され、2011年には「兵庫県環境にやさしい事業者賞[優秀賞]」を受賞。

カブト虫を飼育、無償提供

今後畜産を支え続けると共に「木屑を活用した循環型モデルを発展させたい」と小林忠男社長。

一方で創業者の小林博会長は回収したオガ粉を利用してカブト虫の飼育を1997年より開始。今では毎年1万匹を育成、子供たちに無償提供、喜ばれている。

カブト虫の成長と共に高品質の堆肥も生産され、循環モデルも成長。毎春実施されるイベント「カブトムシ探検隊」ではカブト虫の先生「小林名人」として親しまれ、幼稚園や小学校、大学でも講演。長年のボランティア活動に対して兵庫県より「のじぎく賞」や「こうのとり賞」を受賞している。



木屑の新たな活用に挑戦